

介護と介護事業を守り、よくする！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

天晴れ介護サービス式法定研修 認知症ケア BPSD対応の考え方と具体策（中編）

■介護と介護事業を守り、よくするために

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

28

本日の内容（※ChatGPT参照）

介護現場で認知症について学ぶ意義は、単なる知識習得にとどまらず、利用者の尊厳を守りながら、よりよいケアを実現することにあります

- ・適切な対応ができ、利用者の不安を和らげる
- ・介護者自身の負担やストレスを軽減できる
- ・認知症の進行を遅らせる支援ができる
- ・家族やチームと連携し、質の高いケアを提供できる
- ・認知症の人が「その人らしく生きる」サポートができる

本人・家族・介護者すべてにとって、より良い結果をもたらすためにも、認知症について知識を得ること、よりよいケアを学ぶことが大切です

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

29

講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣アカデミー協会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

30

本日の内容

■前編

- ・BPSD（拒否について）
ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

- ・BPSD（拒否について）
口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）
- ・BPSD（リスクについて）
徘徊／帰宅願望

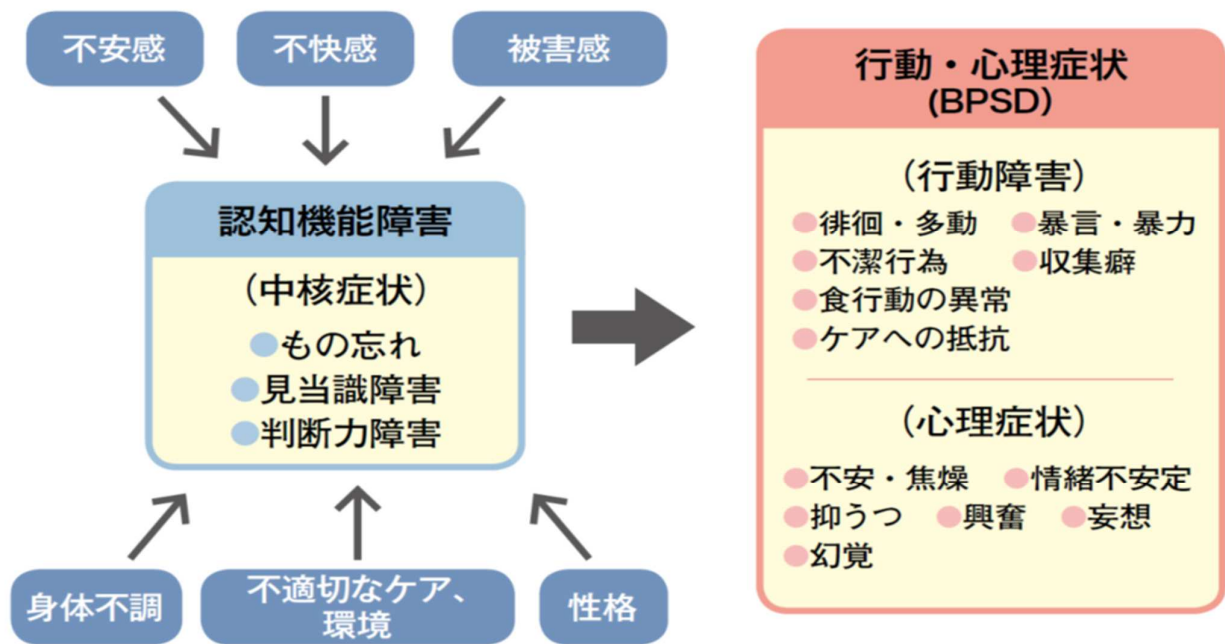
■後編

- ・BPSD（リスクについて）
暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む
- ・認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

31

中核症状とBPSDの関係



加藤伸司：認知症の人の視点からとらえるBPSD（老年精神医学雑誌）に著者改変

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

32

口腔ケアを拒否する

●本人のケアでは不十分だが、他人に口腔ケアをしてもらうことには抵抗があったり、口腔ケアをする必要性がわからない状態。

予測されるリスク

- 歯周病などに罹ってよく噛めなくなる。
- 歯周病などの痛みのために食欲が低下する。
- 雑菌が繁殖することで誤嚥性肺炎を起こす可能性がある。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

33

ケア内容	根拠・留意点
<p>1人でできる工夫をする 洗面所で立ってできるように手すりなどのつかまるものを用意。座ってできるなら椅子を用意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●可能な限り1人でできるような工夫に努める ●口の中を触られるのが嫌だ、怖い、恥ずかしいという気持ちを理解する
<p>上肢の動きに問題があれば、歯ブラシの柄が太いものや曲がっているものを選ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ケアスタッフが見本を見せることで自分でできる場合もある
<p>いきなり嫌がる口腔ケアから始めるのではなく、安心できるようなコミュニケーション等から始める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●介護者はつつい「口腔ケアをしなければ！」と必要なケアを行うことのみを考えがちだが、利用者の立場になってみれば、嫌なことばかり言われる状況をつくっているということを理解しよう
<p>一緒に歌を歌いながら口の中を観察する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●さりげなく観察する方法も工夫しよう。口内炎などが痛くて口腔ケアを嫌がっている場合もある
<p>使っている歯ブラシの硬さなど検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歯ブラシが硬くて痛い場合もある
<p>ブラッシングや義歯の着脱など、介護者の技術が未熟で痛みを与えていないか確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●嫌がる原因を考える姿勢が大切。原因が介護者側にある可能性も考える

サービス利用を拒否する

- レクリエーションを幼稚園のようだと先入観をもったり、家族から邪魔者扱いされていると思い、デイサービスなどに行かない状態。

予測されるリスク

- 家に閉じこもりがちになり、認知症が進行する。
- 家に閉じこもりがちになることで、心身の廃用が進行する。
- 家族の負担が大きくなり、在宅介護が継続できなくなる。

ケア内容	根拠・留意点
さまざまなタイプの施設を見学してみる	●定員やしつらえ、配置されている職種など、それぞれ違いがあるので、本人に合った施設を選ぶ
はじめは 家族も一緒に参加 する	●一人で行くのは不安が大きいものなので、はじめは家族と一緒に参加してみる
知人 がいる施設などを探す	●知人がいれば、その人に会うために参加することもある
はじめからデイを利用するのではなく、 何度か自宅に訪問し人間関係 をつくる	●施設側がどこまで対応できるかは要相談だが、「あの人のいる施設なら行ってもいい」となることを目標とする
初めは 短時間の利用 からスタートする	●多くの施設は1日中いることが多いが、初めから1日は心身ともに疲れることが多い
仕事 を用意して来てもらう	●お世話になりに行くのは抵抗があっても、仕事（役割）があって、それを果たすためなら喜んで行くという人も多い
サービスの 手順 を、わかりやすく説明する	●デイサービスを受ける目的や、デイサービスの内容などをきちんと説明すれば、本人も納得し、ケアを受け入れやすくなる
担当職員 がしっかり自己紹介をする	●職員に好感がもてて、親近感が湧けば、気分も楽くなる。本人との信頼関係を築くためにも、まずは関わる職員一人ひとりが、本人との接点を見つけるための自己紹介など行う
家族からの疎外感 を感じない配慮を	●「デイサービスに行くこと＝家族の邪魔者」と認識してしまう人もいる。その場合は、サービスを受ける意義をちゃんと伝えて、どんな状況であれ家族の一員であることを根気よく伝える努力が大事

本日の内容

■前編

・BPSD（拒否について）

ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

・BPSD（拒否について）

口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）

・BPSD（リスクについて）

徘徊／帰宅願望

■後編

・BPSD（リスクについて）

暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む

・認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

徘徊する

●本人にとっては目的があることが多いため、止めても難しい場合が多い。見当識障害（時間や場所がわからなくなる）があると、ほんの100 m先の店に買い物に行っても、帰り道がわからなくなり、結果として徘徊になってしまうこともある。

予測されるリスク

- 道に迷って帰れなくなり、健康状態が悪化したりケガをする。
- 無理やり家に閉じ込めておくと、ストレスがたまりBPSDが悪化する。
- 行動を制止する介護者との人間関係が悪くなる。

ケア内容	根拠・留意点
ほかの活動や頼みごとをすることで、動き回ることから 気をそらせる	●無理にやめさせたり、叱ったりするのは逆効果
一緒に外に出て 満足してもらう	●まずは外に出ることで気分が変わることがある。家の周りを一周するだけで満足することもあるが、稀にどんどん歩いて行って帰れなくなることもあるため、介護者は携帯電話などを常備しておくとうい
動き回る 原因 を考える	●「トイレがわからない」「昔の家に帰りたい」「行きたいところがある」等の原因がないか、直接本人に聞いてみるのもよい。不安な気持ちが背景にあることが多い
徘徊高齢者等位置探索システム を貸与	●一人で出て行ったときのために利用。かばんや帽子、靴等、外出時には必ず持ち歩くものにつけておくとうい
携帯電話、杖などに 住所・電話番号 などを書いたものを 貼っておく 、服の裏地に 住所や電話番号を縫いつけておく など工夫する	●上記同様、一人で出て行ったときのためにつけておく ●行きそうな場所（親戚宅、友人宅、買い物先、喫茶店など）を把握しておく
近所 の人にも道で見かけたときは、連絡をしてくれるように 頼んでおく	●普段から相談しておくことが、いざというときに役立つ。よく行く店などの人にもお願いをしておくとうい
徘徊のパターン を記録する	●繰り返すようであれば、徘徊する時間、場所、ルート等を記録して、未然防止や事故防止に役立つ
不安 な気持ちがないか配慮する	●環境や人間関係に不安があると、自分が安心できる場所（自宅や住み慣れたまち）に帰りたくなる。徘徊が繰り返される場合は、居心地の悪さがないか、ふだんから本人の様子をよく見る配慮が大事

帰宅願望がある

●家に帰りたいたいと言う。また、今いる場所にいたくない、という状態。今いる場所から出て行こうとする場合が多い。

予測されるリスク

- 一人で屋外に出て行方不明になる、事故に遭う。
- イライラが募り、暴力などの行動につながる。
- 行動を制止する介護者との人間関係が悪くなる。

ケア内容	根拠・留意点
いてもいいと思える 空間 をつくる	●家に帰りたいたいという積極的な感情のほかに、「今いる場所が嫌だ」という理由も考えられる
いてもいいと思える 人間関係 をつくる	●隣に嫌な人がいれば立ち去りたいもの ●見知らぬ人たちの中にいたら、家に帰ってホッとしたい
共通の趣味 や 出身地 、 レク の機会などを通じて、 仲間 をつくる	●職員と利用者との人間関係だけではなく、利用者同士の人間関係が豊かになると、とても居心地がよくなるもの
ひとまず 一緒 に外に出て 歩き回ってみる	●玄関に鍵をかけて閉じ込めたりすると、余計に言動が激しくなる。スタッフも玄関が閉めてあれば安心してしまい、利用者の様子を見なくなるおそれがある
家族 からの 手紙 などを預かっておく	●信頼している家族の手紙なら、読むたびにホッとできる
よく相談したうえで、 家族 から 電話 などをかけてもらう	●サービス利用中は、家族にとっても息抜きであったり、家事を行う時間でもある。電話で対応してもらうことは最終手段にしたいが、家族の声を聞くことで落ち着くことも
気がそれるような 取り組み	●好きなことに熱中していたり、何かの役に立つ仕事を行っているときには、その作業に集中するもの。そして、これらの取り組みを継続することが「ここにいてもいい」と思える場所づくりになる
入所しているのなら、 インテリア や 家具 を 自宅と同じよう にする	●自宅のカーテンや家具を取り寄せる、大事にしていた写真や家族のアルバムを飾るなどで、気分が落ち着くことも
愛用品 を身の回りに置く	●長年使っていた湯のみ、コーヒーカップ、大事に育てた盆栽、大好きな人形など、愛着のあるものに囲まれるだけで、気分が落ち着くこともある

本日の内容

■前編

- ・ BPSD（拒否について）
ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

- ・ BPSD（拒否について）
口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）
- ・ BPSD（リスクについて）
徘徊／帰宅願望

■後編

- ・ BPSD（リスクについて）
暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む
- ・ 認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

介護現場をよくするライブラリー

ACS Appare Care Service 介護現場をよくするライブラリー

ホーム セミナー お気に入り 閲覧履歴

会員ログイン

キーワードで探す



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用 受付中!
詳しくはこちら >

日々更新中！公式サイト・SNS



お知らせ お知らせ一覧 >



セミナー

【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！

ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」

【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内

セミナーをもっと見る >



4月16日 (火)

14:00～16:00

管理職養成2024

管理職 リーダー 本部 管理者



4月17日 (水)

14:00～15:30

介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...

会員限定 リーダーズ・プログラム

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当+α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当+α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当+α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当+α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当+α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

こちらも是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画+数分のショート動画もあります！
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ
介護と介護事業を守り、よくする！
1000人の仲間たち\(^^\)/
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報+特典動画！
特典動画は…これから用意しますm(__)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

47

天晴れ介護サービス法定研修

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌